蔣氏再會見。中止豆

譚、戴兩氏와會見

●長尾京城地方法院接事正職米

◇滯寧中의床次氏去就

郷玉祥氏公會見十三日夜上海の番音を独定り曰己

一極困境

軍縮議開催督促

制造改正され、小選挙以採用選級政友特別委員會に、選挙

大會終了

オスコロリンピのような人内 一番が巡難の、 ロッグラの際の金子が登出

一出」氏身邊危險

全部七千萬元資金으로

行으로

J C J B J J J B F F F B B B B F E G T I H B

暗殺計劃發覺?

立有望

亞爾然丁各官憲品

仁母へ今かき 山川型脈湾町 円置スアン 河源东部

衝路四丁目五十番地宗廟越伊無點電話機販賣公價價與買入 米國山門三、 市内三次二十八年日

がり、大本フ サ

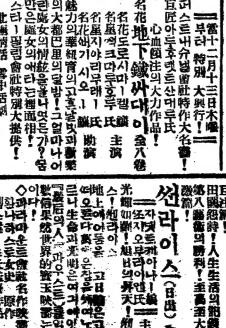
電話商會 實用新案特許附屬品付

製料口座東京三九九〇〇世界 所 完 所

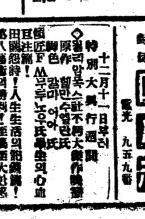
朝鮮信託

資本金貮百万円

電話買入



高級製品商家東華洋行



◇七日日日子公時報

帰路呈

4三次會見

▲國家賠償法酬定의件
●愛けり免が又と無期의外の
・実力智小豫審又と公判の附
・受けり免が又と無期의外の
定한者の製むの相當む賠償を
定한者の製むの相當む賠償を
定で者の製むの相當む賠償を
定で者の製むの相當む賠償を
では、官吏又と官總의履員の二職
を選行びの當むの故窓又と過
失め依むの他人の別損害置及
失め依むの他人の別損害置及

全次定が写出 中央教行委員 中央教行委員 外十六名 外十六名

染料原料專賣

京被府花園町九十

関め反對意通電も8/日子

文氏의西原借験系記の反十二日建)北平市漢部

(東京電) 振術院のガンの引 十二日宮中에서

免訴無罪者の對む

國家賠償法制定

文虚出張所

店京城

地・朝鮮・瀬州・支那各地の筒等取引先の有空地・朝鮮・瀬州・支那各地の筒等取引先の有空

◇政友調查會る不决議

Max 古의船人へ

北平市黨部

西借承認反對

軍閥을為한及の豆

償還의責任召叶ユ

N.

民

의

生

活

裡

面

皆勞農黨系

釜山經由渡航者

警察阜豫備警戒

同和藥房本舖

種投票도 五日智開

一末商界

ユな州が示らやか

의二計劃

起死田生靈藥

國際貿易法可背馳

朝鮮日報社

入進州計立入賞呂爾店叫农

하기위하아 이용오십천이로 발 아 매한다는데 이기리 각상단에서 가 는 다투어 특별한바침과지점을 사게와 나아가는장이라더라

江原道長銃强盗 覆審召死刑言渡

咸南記者

모계회을회책하다가발각

日比谷署突然襲擊

水浴하ら 淬死 당(並木町)사십사번다 민을 돌목하고 상당(韓田岩大郎)방에류 로질당하고 각각

上告决定

参議府員士

収調後送局

制令違反其他弖

禁止"誤便

では刃刻む音刃

洪原警察搜索。

家宅侵入。宣告訴? 对让 ワニュ 全

協成實業教員 劉廷越氏長逝 교육河の哲신하다가

檢事局の提訴準備

節沒情 並浦項醫界

應量二

一診料 目中五治療拒絕

程紅熱猖獗

|学の正ない正大品言れ 温が

四部四四四四(多别) 問題도안된け

支分局大寨集 大開開 社

〉をやせてい

ならる今かける

朝鮮日報京城販車

◎大倉使用公認 付っるの天皇教造所

二日檢束 時座談の豆

少年讀本

五臺山玉佛憑藉

婦女의金品詐取

二 町 が の な 不 か い 立 工

迷信号利用並犯罪

有腸炎의 原因은

目。日中は 신년회등먹을

近年台入島市

당(校)성당()

青年

子의라口治中上門 明明皇帝

나는마무로 올라서서 구두문을 스트마음성음성거셨어린해처럼

마을 한다고몽나집

近의

四 の 望 至 引 三 劇場 引 運 命

자기 되었습니다 그러남자 中一七大河 马召召号

이모드그날밤의 파종이 활동사 진치림 지금의나의 눈안들어지 리고그날밤에들리드두세건덩이바 리고그날밤에들리드두세건덩이바 이우를 다릅실치는 돌소리기마

나기자요 아모소식도 업스 물일이래야 네일이지무슨다 다 오랫은그리케 유패한모 의 사는부슨편지? 오면왕지 ロステミルログロス マググル・

最一時 山十年 (海峡)

3美本 面自

1 豊臣秀吉出世大 2脳笑ひのオカメサン 11つ(火中中晋中金コ官吹本之英具 飛行機玩具 第二十二回共四次四十二年 メラレ子供 強作の分、一緒立中海県の 意味の互動育的新聞二頁型 非常可避免火圧等物性の事件の上目者

刈年俱樂部 号勸 せいの 讃物かた 어린 の의州 本 喜感化 힘

一人、五五被曲一人流)瓜生武水(一人、五五被曲)

的时间还单位可不可需来以中与的补偿设备工作 当外 今日の公父分兄」

대기보시요 아시바에서 기대리 기계기보시요 아시바에서 기대리

工者专入图 四年 十四岁 四日

十三世紀七 四四年日 中田八

雑誌『幼年俱樂部』引丕名點や、叶号의諸點を及りい。

松川教科書の家庭の9.55分類外職物の一定、車の財務のプロスを悪化号子となる。 滋味り刊の日と中外の司のの刊不之感化号子とな。 教育的の三名各學科外連絡の登日の父とな。

評判の

を 之理 由 聖 職 殿谷小波

心幼年俱樂部亡、「断叫以分分好適望次可나。

ぶを雑誌입니다。

ユガミ

恒常執筆かとびらいい。

市川瀬三先生 數吐亳幼年雜誌中所外、幼年俱樂部가第一評判可丕亳坦由台、 幼年俱樂部七、 **リー生懸命** い 可難 誌中 의王様 日日 市川源一

可当日四皇子十七故王,

雑誌도生氣以合いい

編輯者

父时中卫말台吴三皇雄誌 幼年俱樂部とい当雑誌中의王のよけ、安心も正い可의州不以合いい。

吴二司以合山叶。 幼年俱樂部의編輯や哲智习受合りい。他外替五代言三公司計工官合意 日か 男合りい。幼年俱樂部とい j雑誌中の. ユやのユョロ中巨刀世字の大小叶巨刀足丘叶精神が 機器川合 一世四名山口

附屬의副級の되受合いい。特制作文令非常制進步哲以小。城子의祖吳城子外幼年俱樂部号記刊始作於い合早司答答成績の否外对州墨島師雜 에 ... 西條八十氏 西條は

是や殆り全部幼年俱樂部를愛讀り亡天むりい。

可引子弟言の 俱樂 大喜大

더 주 는 것 이 中들袋

こうこがび(かずが大馬護備等性主動物会は日立強族のとう 北京自秋先生歌、山田耕作先生曲・色刷いい言いた。

鬼と龜と幼年俱樂部の歌(四號祭子集 東京本郷(振替東京三九三〇) 大日本雄辯會講談社

夜の禽員忘

힘

英斷을切望

安城酒造社 抗争決心

社の一能度理理域との一次の10年10個性の一般を表現の10年10個性の一般を表現の10年10個性の一般を表現の10年10日間では、10年10年10年10日間では、10年10年10日間では、10年10日間では、10年10日間に、10年10日間に、10年10日間に、10年10日間に、10年10日間に、10年10日間に、10年10日間に、10年10日間に、10年10日間に、10年10日間に、10年10日間に、10年10日間に、10年10日間に、10年10日間に、10年10日

部外西面青年一年出中、む合いのギ

所入院語な城郡原山同郡安城郡原山同郡安城郡原山同野大院語が田では、1000年の東京、1000

0

日対熱誠電い 如何是復舊対안코

取終外

脱退하口叶丘

餘郡湖山

L金融組合OL状餘林川南田金組業績 忠用技

中江鎮附近에 中江鎮附近에 中江鎮附近の 中江鎮附近の 小兒에 州流行 中近日の三田寺の子会職祭江의上流の野島 中近日の八月の州流行 中近日の八月の川流行寺の一般の三田寺の子今都會地 中近日の八月の一般の三田寺の一般の一部の一世 一部 一日 中近日の一日 中近日 中近日 中近日 中近日 中近日 中近 日子(中近鏡)

十一月中

也 方 人 事 和石鑓廣氏(全南追知事) 三去十 日宁後六時四十分源陽郡勧渡 調十一日宁後略任

位置置から面經營の豆みが可能性多様が時に銀川面の可能性多様が時に銀川面の

一般有念의實助至充衡別會의所與經費之會員习職

交員各地主の川鉄道交渉判理条件のは新な事を地上地使用機会権のはいいである。

の左外切り分割

经支出列

一、理事に當該區域心の最後祭門大地変質の有望特に即時會長の八報告登記を受めて報告登記を受ける。
本義命から該領域理事が個力を行う。
おいコ質任を實行認思

本書籍廣州支倉の外に以上の日本書籍廣州支倉の外に対した日本書籍所任司倉下の第二回編務的一時早刊同會館中の第二回編務的日子以定が外下の同會館中の外倉長の日本語の日子に四部衛委員の日本語の外第三回の日子に開出の日子に四部衛委員の日子に関州) おおり いっこう はいい いっこう はい いまい はい いっこう はい いまい いっこう はい いっこう はい いっこう はい いっこう はい いっこう

事業命計の設置被理事外協力等等の工實任多實行並是
今任 員會長二人 幹事二人理事之二十戸中一人太平기里等之二十戸中一人太平기里等之一十戸中一人太平川里等之二十戸中一人太平川里等之二十戸中一人太平川

一級収がプロリント 五十

星圖

新幹廣州

本書を自川地方發展を置き、 中、大学を対しています。

「大学を対しています。

「大学を対します。

「大学を対しまする。

「大学を対しています。

「大学を対していまする。

「大学を対しています。

「大学を対していまする。

「大学を対しまする。

「大学を対しまする。

「大学を対しまする。

「大学を対しまする。

「大学を対しまする。

「大学を対しまする。

「大学を対しまする。

「大学を 濟策

鷄卵斗生雉

月日

實施豫定

銀行側은七月

一日實施要望

咸平支部臨總平少年同盟

▲教養年檔根▲財政白桂彩本の別が十二月九日正午早記成乎少別が中に可委員部氏に当める。 本変員長朴文圭▲底務李教賞を受員長朴文圭▲底務李教賞を受ける。

中江基等一會

新幹會長城支倉の分と來十五日午後一時の同會館内の分と來十五日午後一時の同會館内の分に來十五日伊日幹事と無獨出席がり至此時幹

16

コカ合族院答品を 日の情情月生版 のメ外委中能議 「方版、「あの者」

스케잇價格도昨年보다할해

自由 의天地 アミニハ 원 리스 이는 特 可 鐵道・陸軍・鮮銀・樂天 天 스만 川 의 活躍 至 前 期 는 이 列 地・ 昌慶苑等 の 各 己 競技場 의

로부터이다 그바에는터욱活氣 準備가거의完了되야 一般에게 가따돌아보히는것은 『스케잇링』 公院하는데에는北國武士村의 問

關係로昨年에도 各警察署에서 『스케잇』の一般顕技者에게期待 는道路上에서店토또는小見들이 외數迎을빗고잇스며『아마취어』 街路上の分級南으로疾走むの設 用으론『四一라・引かーム케잇』 生된事故도일우헤아릴수업다는 이流行하아價格은四圓乃至五圓 달성지잇쉬 朝鮮에잇쉬…그얼 五十錢성지잇스吒學生側에適當 다나 스케잇팅 들変略하는지 한 한 보 라 누루미스 사람는 五國 이것으로 위 도追測함수 있는 것 가 교 七圓五十錢이라고하는데其 이다그림으로今年에는路上『스 바에도最新流行으로愛用되는지 케잇링』은絕對로 嚴禁宣方針 은『피규어』에는十二種이잇는데이라는데京城에는競技場은 遵 高級品으론十二圓으로二十圓五 江• 平溪에는大同江• 嶽義州에 十錢外지며 华는『奕카』用으론

岩鴨約江等이 있分多數의 歳 六種이있分 十一間五十錢으로 技者가 모이어드는 現狀이나 十三圓五十錢限度中 競技用에 이곳에는 危險信號가잇는곳에 는十四圓乃至十七圓外지잇다더 七級近月 とこづ今年 己(以上市内署名運動具商調査)

意氣衝天의氣勢至

延專蹴球軍猛練習

來十九日에出發量確定하고

曾心時報が中外スプリシ同校の分七翌日22十二日午後五時頃 同差征问對하야是時間是直하야協議한计只发는可出致日字는 過般豫定明星來月十九日午後軍星京城皇崎中二十一日長崎出 帆의汽船の星上海直行号確定하五毎日午後二時半早刊市內培

國皇添付하ら一月二十日外지 大連新錢社會課內辦洲體育協 會至提出하기臺바란다하며

解氷上鹽技選手權大會言開催한 다는바種目規定은如下 一種目—五〇〇米•一五〇〇米 五〇〇〇米•萬米•二〇〇〇米 司러•五〇〇米•萬米•二〇〇〇米 司러•五〇〇米•萬米•二〇〇〇米 司러•五〇〇米•萬米•二〇〇〇米 司러•五〇〇米•萬十二〇〇米 司러•五〇〇米•萬十二〇〇米 司러•五〇〇米•高田 內往復業書로一月八日外지府 內明治町朝鲜體育協會로申込 하기를바란다더라

秘密裡の取調檢擧並三名

材味場の分類習練合거言하고있다더라

定은아래외깃다

一種目一(強力競技)示〇〇米。 一五〇〇米。五〇〇〇米。萬米 二〇〇〇米리己。五〇〇米胄 態。(可分の) 一番可分一。 司一本ツ릥(國體競技)『아이

△。至引』参加希望者完金一

午後叶叶材培球場에서

이칫손가락을꼽게된다 어느곳 緖를볼수잇게될터이다 **参**勿訟

・ 自然

・ 어잇게『스케잇』만잇스면 마음 今年度流行의』스케잇』은獨選隻 대로할수있는것이다 이와가를 造品『任 라』會社의氷上滑走 우

多幸可客車七無車 0

生活難の 三自殺

日記帳進呈
지안 5세해가될런임이로보보다
(동지국(本報永问支局)에서 등
만 애독자를위하야보사 출판부 기원 다 등 당 한 다 본 사 출판부 기원 다 한 명단 일 보 한 명단 일 보 한 다 더 라 한 원 등 일 보 수 무 묘 나 당한다 더 라 장이 하면고 당한가 있는 다른 하는 이 의로 보이 이 의로 보이지를 보이 되었다.

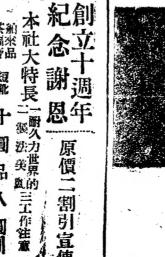
9

이 한번로기침하고 이 한번로기침하고 이 한번로기침하고

严

新来品 短れ 十 圓 品 九 圓 州 茶鍋廠 短れ 十 三 圓 品 十 圓 에 水 十 三 圓 品 十 圓 에

原價二割引宣傳







規川書請求おヘビ活迹無 部 朝 鮮 自 砂 車 講 労 展 1 巻 成 単 計 上 巻 成

東亞被服即資所

업스티라생

中八号社里ならとは(金原甲)以上 南長金珠甲氏談】

ラスミロミア巴可出出品テアコアを明めている。

고 사나의가 큰밖 이뜻을말하지 큰 나

말했다고 도리명남편

사위 보담

0]

